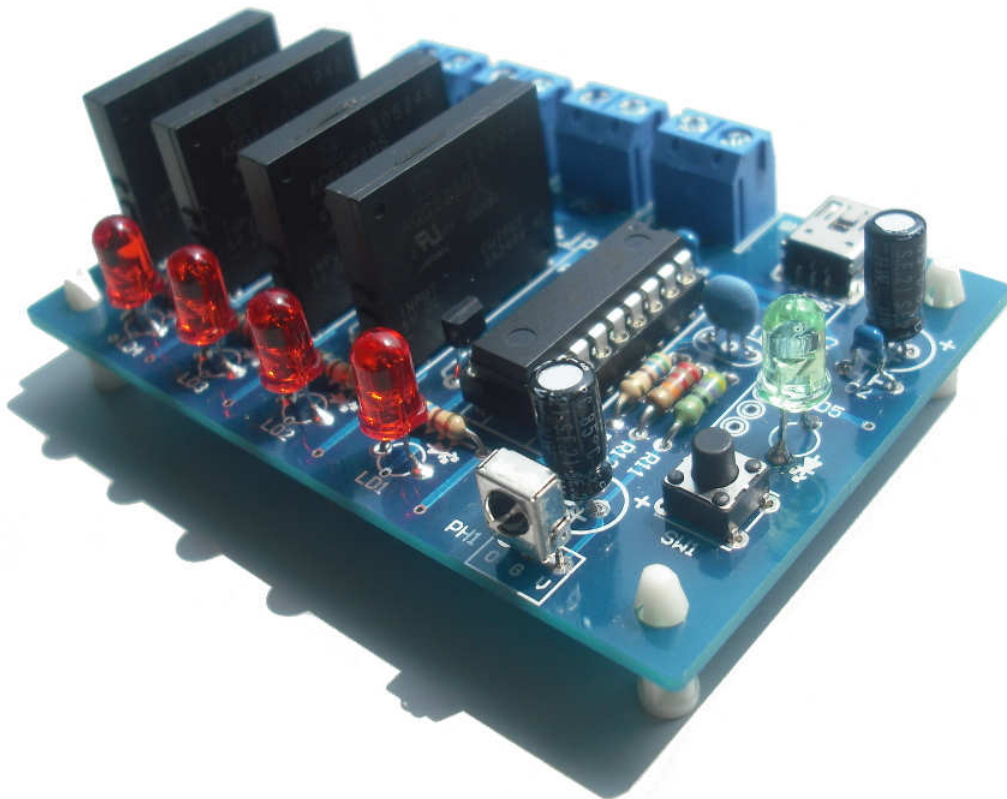


# 4チャンネル赤外線 受信基板 ユーザーズマニュアル

Ver. 1.00



## はじめに

この度は「4チャンネル赤外線 受信基板」をご購入頂きありがとうございます。

ご使用の前にこのユーザーズマニュアルを必ずお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

## ご注意

本製品はホビー用として製作されていますので、誤動作が許されないような負荷の制御にご使用しないでください。

本製品は屋内で使用することを前提に製作されていますので、屋外ではご使用になられないようお願いいたします。

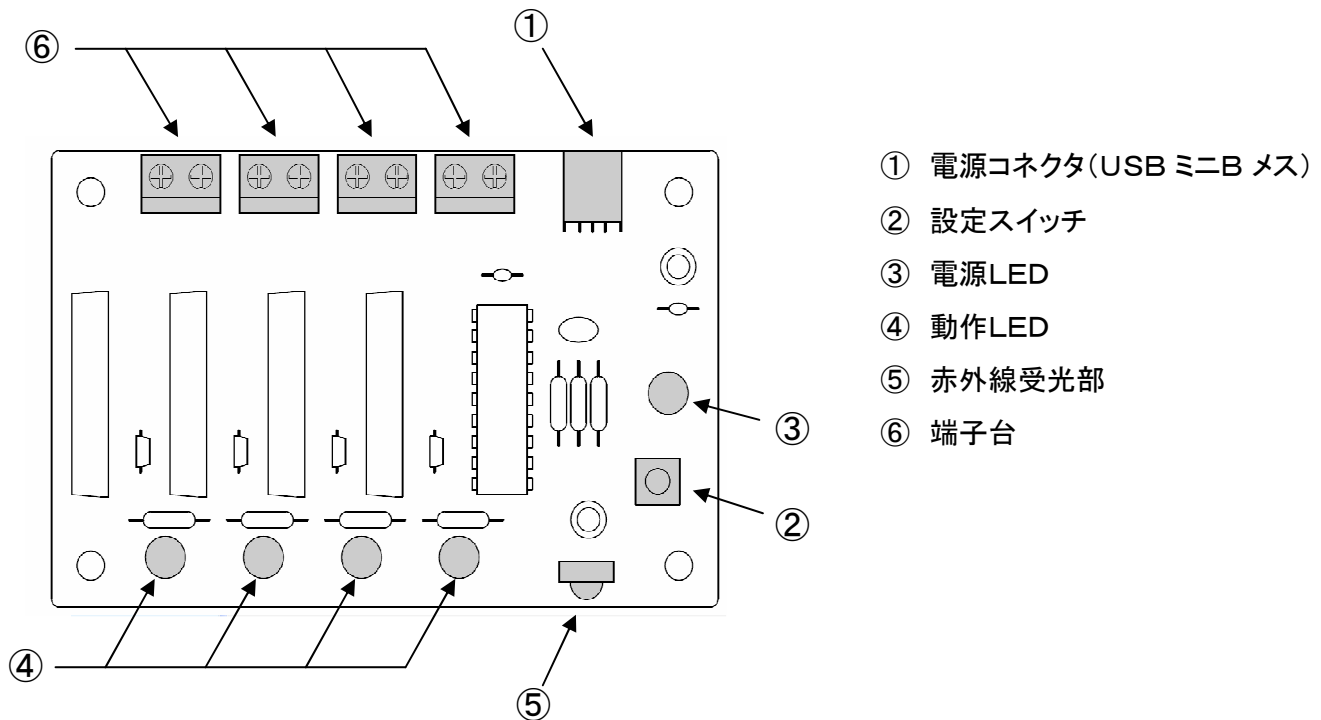
また屋内であっても蛍光灯の近くやノイズの多い環境では誤動作やまたは動作しないことがありますので、そのような場合は場所を移動してご使用くださいますようお願いいたします。

電源供給用のUSBケーブルは付属していませんので、別途ご用意くださいますようお願い致します。（USB ミニBオスコネクタの付いたケーブルが必要になります）

## 免責事項

法律上の請求原因の種類を問わずいかなる場合においても、本製品の使用または、使用不能から生ずる直接的損害、問題損害、（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、経済的拡大被害（逸失した利益、ビジネス上の収益、信用あるいは節約すべかりし費用を含む）、他の機器や部品に対するデータの損失または損害、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（身体障害に起因する死亡及び怪我を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきます。

## 1. 各部の名称



## 2. 仕様

項目	内容	備考
電源電圧	DC5V (市販USBケーブルにて供給)	
消費電流	約90mA (MAX 120mA)	
受信搬送波周波数	38kHz	
出力形式	ソリッドステートリレー 1a 4チャンネル	
出力容量	240V 2A AC	
学習機能	4チャンネルのそれぞれにON, OFFの計8信号を学習可能	
仕様温度範囲	0°C~50°C	
基板外形寸法	85mm×55mm	

## 3. 機能説明

本赤外線受信基板は、お手持ちの赤外線リモコン送信機の信号を学習させることにより、4チャンネルのリレー出力をON、OFFさせることが可能です。

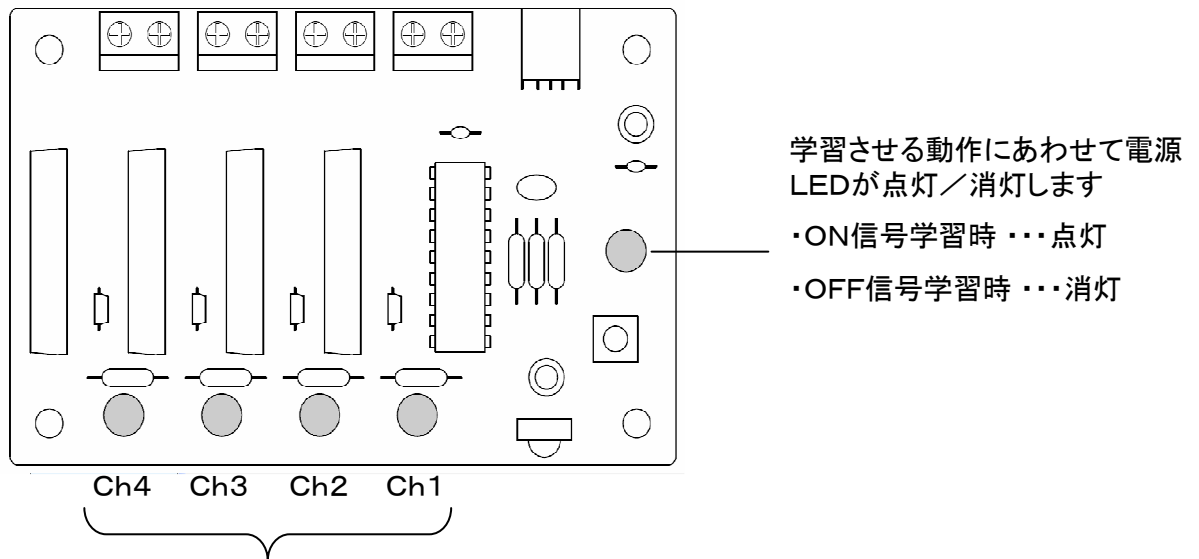
製品の出荷時はリモコン送信機を学習させていない状態です。そのため最初にお手持ちのリモコン送信機を学習させる必要があります。

次項の「学習方法」にそって学習させてください。

### 3-1. 学習方法

#### お手持ちの赤外線送信機を本装置に学習させる方法

1. お手持ちの赤外線送信機の送信部と本装置の受光部を、5～10cmの間隔で向かい合わせてください。
2. 本装置の設定スイッチを長押し(2秒以上)すると、ch1の動作LEDが点滅し、「ch1-ON」信号の学習待ちとなります。  
この状態で設定スイッチを短押し(1秒以下)すると、電源LEDが消灯し、「ch1-OFF」信号の学習待ち状態に切り替わります。
3. 設定スイッチを短押しするたびに「ch1-ON」→「ch1-OFF」→「ch2-ON」→「ch2-OFF」→... と切り替わりますので、設定したいチャンネルの動作LEDを点滅させてください。
4. お手持ちの送信機の学習させたいボタンを押してください。  
(通常操作と同じようにワンプッシュしてください。本装置はキーリピートコードに対応しておりませんので、連続してボタンを押す必要はありません)
5. 学習が完了すると、全チャンネルの動作LEDが2秒間点灯した後に通常状態に戻ります。  
(動作LEDが消灯し、電源LEDが点灯します)  
学習に失敗した場合は動作LEDが点滅のままになりますので、再度送信機のボタンを押してください。  
何度押しても学習に失敗する場合は、学習できないフォーマット(38kHzの搬送波を持たない赤外線信号等)と考えられますので、別の赤外線送信機でお試してください。
6. 上記2～5を繰り返すことにより、ch1からch4へ送信機の希望のボタンを学習させることができます。
7. 学習を取りやめるときは、設定スイッチを長押ししてください。通常状態に戻ります。



学習させるチャンネルに対応した動作LEDが点滅します。

### 学習させた内容を消去する方法

1. 本装置の設定スイッチを押した状態で電源を入れると、全てのLEDが点灯します。
2. スイッチを押したまま5秒間待つと、全チャンネルの学習内容を消去した後に通常状態に移行します。
3. 消去作業を取り消す場合は、5秒より前に設定スイッチを離してください。通常状態に移行します。

## 3-2. 通常動作

学習させたリモコン送信機を受信基板の赤外線受光部に向けて、チャンネル1のON信号として学習させたボタンを押してください。チャンネル1のLEDが点灯して端子台CN1がON(導通状態)になります。

チャンネル1がON状態のときに再度チャンネル1のON信号として学習させたボタンを押しても状態は変化しません。(ON状態のままになります)

チャンネル1をOFF状態にするためには、チャンネル1のOFF信号として学習させた送信機のボタンを押してください。

その他のチャンネルも同様な動作となります。

## 4. お問い合わせ

### 株式会社 広洋電子

お問い合わせページ

<https://koyo-denshi.sakura.ne.jp/contact/contact.html>

## 改訂記録

日付	バージョン	改訂内容
2013年 8月 30日	Ver. 1.0	新規作成

---

# 4チャンネル赤外線 受信基板 ユーザース マニュアル

---

2013/08/30 Ver. 1.00

---

株式会社 広洋電子

〒733-0005

広島市西区三滝町16-5

TEL 082-239-3969

FAX 082-238-6358

URL <http://www.koyo-densi.co.jp/>

---